

法政大学国際文化学部企画

# 東京の満蒙開拓団をいま考える

— 足元の歴史を知るために —

1930年代、世界恐慌以来の不況の中で、活路を満州に求めた人々がいました。長野県や山形県など、多くは養蚕地帯における農村の疲弊が背景になっていますが、実はこの東京からも満蒙開拓団が送られていたのをご存じですか？

あまり知られていないこのテーマに関して最近、市民グループにより『東京満蒙開拓団』（ゆまに書房）がまとめられ、新たな光が当てられています。そのメンバーの一人、藤村妙子さんをお招きし、関連映像も観ながら、足元にある歴史をともに考えていきます。

- 日時：2013年11月20日（水）  
4～5限（15：10～18：20）
- 場所：58年館7階 876教室
- 連絡先：法政大学国際文化学部事務  
([jkokusai@hosei.ac.jp](mailto:jkokusai@hosei.ac.jp), 03-3264-9345)

<参加無料、事前連絡不要>